

印旛沼・流域再生大賞



印旛沼 佐倉ふるさと広場



第7回再生大賞【特別賞】受賞

NPO法人国際ボランティア学生協会 (IVUSA)
IVUSA
International Volunteer University Student Association
Since 1999

対象となる活動

- | | |
|-----------|---------------|
| 水環境の保全・再生 | 流域の自然環境の保全・再生 |
| 水資源の保全・活用 | 水防災 |
| 環境教育 | 水文化 |
| など | |

■ 印旛沼とその流域において、「恵みの沼をふたたび」取り戻す活動に努力している個人や団体を表彰します。



第7回再生大賞受賞



佐倉市立染井野小学校



印旛沼流域環境・体験フェア

応募期間

2020年 4月 27日 月 ▶▶▶ 7月 3日 金

必着

応募資格

学校、企業、団体、行政、個人等の全ての活動主体が対象です。
自薦、他薦は問いません。

応募方法

応募用紙に必要事項を記載し、事務局にご提出ください。
※応募用紙は、4月27日以降に下記のウェブサイト(いんばぬま情報広場)から
ダウンロードするか、事務局までお問合せください。

主催

印旛沼流域水循環健全化会議



いんばぬま ご当地ヒーロー スゴインバー



事務局：印旛沼流域水循環健全化会議(千葉県県土整備部河川環境課)
〒260-8667 千葉県千葉市中央区市場町 1-1

043-223-3155

kawakan2@mz.pref.chiba.lg.jp

詳しくは「いんばぬま情報広場」
<http://inba-numa.com/>

いんばぬま情報広場 検索



2019年度 第8回印旛沼・流域再生大賞受賞者



池内 恒雄 氏

活動名称 ブログ「池ちゃんと印旛沼」による啓発活動

受賞理由

池内氏は、印旛沼の再生に資するため、印旛沼の現状や健全化会議の活動内容、関係機関・市民団体などに関する情報を分かりやすく解説する素晴らしいブログを提供してくれています。これまで約4年間に、投稿回数は約400回、累計アクセス数は47,000件を数え、対象は多岐にわたりますが、その内容はいずれも適切で一般の人に親しみ易く、かつ実に分かりやすく解説されている点、また、検索によって関心のある情報に容易にアクセスできるよう工夫されている点を高く評価します。健全化会議は、印旛沼とその流域を知つてもらうために必須の情報源として、このブログの作成に敬意と感謝の意を表します。

以上、その素晴らしい活動実績を称え、第8回の印旛沼・流域再生大賞の受賞者として選定しました。今後も活動をさらに継続・発展させ、印旛沼・流域の再生に御尽力いただけることを期待しています。

坪井湿地を復活する会

活動名称 坪井のヘイケボタル復活計画

受賞理由

この会は、開発によって絶滅の危機に瀕した坪井湿地固有種のヘイケボタルを復活させ自生させることを目指して、幼虫の人工育成と放流を行なう一方、ソーラーパネルを利用した水循環システムを作り設置するなど、ホタルの生息湿地の環境の整備を進めています。さらに、ホタルの育成だけに留まらず、オリジナルマスコットキャラクターの制作、地元小学生に向けた講座の開催、イベントへの出展や参加、各種媒体への投稿など、多彩な活動を展開しています。これらの取組みは、船橋市、近隣の高校や大学、消防団や子供会など、密接な地域連携のもとに行われ、地域の水環境の改善に実績を上げていることを高く評価します。

以上、その素晴らしい活動実績を称え、第8回の印旛沼・流域再生大賞の受賞者として選定しました。今後も活動をさらに継続・発展させ、印旛沼・流域の再生に御尽力いただけることを期待しています。



二重川に親しむ会

活動名称 二重川の清掃活動及び散策路草刈り・植栽植樹の管理
水質検査により、水環境の関心を高める。年1回実施(みずとみどり研究会全国調査)

受賞理由

二重川は十数年前には大雨が降れば氾濫するドブ川でしたが、河川整備とともに川沿いを散策できる川にしたいとの地域住民の願いで、2007年にこの「親しむ会」が結成されました。以来、川沿いの植栽・植樹とその管理、草刈りや清掃活動に加え、水質検査や自然観察会の実施、小学校教員研修への講師派遣、鯉のぼり企画、二重川ガイドブックや散策マップの作成、地域の歴史伝承(利根川放水路計画)など、多彩な活動を展開しています。特に、鯉のぼり企画は、2012年の101匹から始まり現在では600匹を数える地域の風物詩となっています。地道な活動の積み重ねによって、親しみやすい二重川づくりに実績を上げていることを称え、高く評価します。

以上、その素晴らしい活動実績を称え、第8回の印旛沼・流域再生大賞の受賞者として選定しました。今後も活動をさらに継続・発展させ、印旛沼・流域の再生に御尽力いただけることを期待しています。



●過去の受賞者

受賞回	活動主体の名称	活動名称
第7回 (2018年度)	● 佐倉市立染井野小学校 ●【特別賞】NPO法人国際ボランティア学生協会(IVUSA)	「印旛沼 新発見！」佐倉市立染井野小学校5年生 「印旛沼クリーン大作戦」
第6回 (2017年度)	● 和田未来農業研究会 ● 印旛沼探検隊 ● NPO法人 印旛沼広域環境研究会(NPOいんば) ●【特別賞】船橋市建設局下水道部	佐倉市和田地区の谷津田における化学肥料、化学合成農薬を用いない米づくり 子どもたちの記憶に残る水辺・里山の自然体験・交流活動 水環境改善活動及び啓発活動 「木戸川における治水・生物環境・親水を考慮した河川整備」
第5回 (2016年度)	● 特定非営利活動法人 せっけんの街 ● 神崎川を守るしろい八幡溜の会 ● 特定非営利活動法人 NPO富里のホタル ● 特定非営利活動法人 水環境研究所 ● 里山の会 ECOMO ●【再生功労者賞】金山 英二 氏 ●【特別賞】印西市環境経済部環境保全課	廃食油からリサイクルせっけん及びBDF燃料の製造とその普及活動、雨水タンクの普及活動 環境学習講師の派遣、環境にやさしい消費材の普及 神崎川上流のけやき台緑地における生物調査やごみ拾いなどの環境保全活動 高崎川原流域に位置するヘイケボタル自然発生地の「天神谷津」での環境保全活動 印旛沼流域を主に湧水調査と保全・啓発等の活動 里山保全と里山における自然観察等の活動 印旛沼関連活動、対外関連活動 合併処理浄化槽の維持管理の個別指導と印旛沼水質改善についての啓発
第4回 (2015年度)	● 特定非営利活動法人 八千代オイコス ● 印旛沼土地改良区 佐倉西部支区	よみがえれ花輪川 外来植物(ナガエツルノゲイトウ・ホティアオイ)を地域力としたソーシャルキャピタル(農村協働) 手操川沿線生谷地区で取り組む環境美化活動(生谷コスモスマツリ)
第3回 (2014年度)	● NPO法人 印旛野菜いかだの会 ● 佐倉印旛沼ネットワーカーの会 ● 特定非営利法人 四街道メダカの会	生物浄化システムと体験環境学習 印旛沼の再生をめざす 市民とともに水辺の環境に親しみ保全する会
第2回 (2013年度)	● 白鳥 孝治 氏 ● 千葉英和高等学校 生物研究部	長年にわたる研究と啓発活動 25年にわたる調査・研究活動
第1回 (2012年度)		